

書名 項目	中学音楽 音楽のおくりもの	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「Let's Sing!」では、歌唱表現の基礎的な技能や曲の構成を理解するためのアプローチが示され、発達の段階に応じた知識・技能の習得ができるようにしている。 ○「Let's Try!」では日本の伝統芸能の基礎的な知識を学び、体験することで技能を習得できるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「ACTIVE!」「Let's Sing!」では自分の考えを書き込み、話し合いや考えの共有で思考を深められるようにしている。 ○「比べてみよう」では楽曲を関連付けて思考を深められるようにしている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「話し合おう」では自分の考えをまとめ、交流することで他者と協働し、対話的な活動ができるようにしている。 </p> <p> <音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○創作教材では、手順をスモールステップで明確に示し、見やすくしている。 ○歌唱教材では音域や難易度を学年の発達段階に合わせて設定している。 </p> <p> <生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○「私たちのくらしと音楽」では、生活の中で関わる音楽の紹介、音楽療法、著作権について示し、音楽の意味や価値について考えるように工夫されている。 ○郷土の音楽や芸能、各国の音楽、舞台芸術などが写真とともに紹介されており、音楽文化と豊かに関われる工夫がされている。 </p>	
資 料	<p> ○口絵に自筆譜が掲載されている。 ○巻末に様々な音楽や楽器の説明を写真と一緒に整理して掲載している。 ○二次元コード「まなびリンク」では、教科書の内容に関連した動画や音声の情報を得ることができる。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文などにはUDフォントが使用されている。 ○表現、創作、鑑賞ごとにページが色分けされている。 ○巻末に「楽典」の資料が掲載されており、掲載ページも示している。 </p>	
総 括	<p> ○表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学びのユニット」で年間の学習内容を関連付けて示している。 ○「くらべてみよう」で比較して学習し、共通性と固有性を考え、音楽のよさを理解し、確かな学びにつなげる工夫がされている。 </p>	

書名 項目	<h1>中学生の音楽</h1>	27 教 芸
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「My Voice」では、発達の段階に応じた歌い方が示されており、歌唱表現の基礎的な技能を習得できるように工夫されている。 ○「指揮をしてみよう！」では表現の基礎的な技能を習得するための説明が示され、発達の段階に応じて習得できるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「深めよう！音楽」ではどのように演奏したいのか等、自分の考えを言葉で表現できるよう、ワークシート形式になっている。 ○各教材では学習目標と音楽を形作っている要素、具体的な学習活動を提示している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「深めよう！音楽」では、具体的な手順を示し、音楽表現を主体的に工夫する過程を大切に扱っている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○創作教材で基礎的な能力を習得し、「Let' Create！」で実際に創作活動を体験できるようにしている。 ○歌唱教材では表を活用して曲の分析ができるように工夫されている。 <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「社会を映し出す音楽」「ポピュラー音楽のジャンル」等の資料で比較したり、多彩なジャンルの音楽に親しんだりできるように工夫されている。 ○「心の歌」を各学年2曲以上、見開き2ページでカラー写真と共に掲載している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○各教材では学習目標と音楽を形作っている要素、具体的な学習活動を提示している。 ○「社会を映し出す音楽」「ポピュラー音楽のジャンル」等では、多彩なジャンルの音楽に親しんだりできるように様々な音楽や楽器が掲載されている。 ○QRコードにより音声や映像を視聴し、情報を閲覧することができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などにはUDフォントが使用されている。 ○表現、創作、鑑賞ごとにページが色分けされている。 ○巻末に「音楽の約束」として楽典資料が掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学びの地図」で年間の学習内容を系統的に示している。 ○伝統音楽や民謡では鑑賞と表現を関連させて取り入れ、音楽文化と豊かに関われる工夫をしている。 	